

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課

担当課長名：荒瀬 美和

事業名	空港・港湾等アクセス 一般県道矢野海田線 曙町～寺迫工区		事業区分	地方道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県安芸郡海田町曙町 至：広島県安芸郡海田町寺迫			延長	0.9 km	
事業概要						
一般県道矢野海田線は、広島市安芸区矢野地区から安芸郡海田町に至る幹線道路であり、国際拠点港湾広島港との連携強化及び物流効率化に資する重要な道路である。現在、整備が進められている一般国道2号東広島バイパスと一体となって現道を4車線化することで、海田町内の交通渋滞を解消し、アクセス性の向上、物流効率化を図る。						
H4年度事業化	S63年度都市計画決定		H5年度用地着手		H6年度工事着手	
全体事業費	約61億円		事業進捗率	約85%	供用済延長	— km
計画交通量	18,700台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.03 (残事業) 33.9	総費用：(残事業)/(事業全体) 4.0/132億円 事業費：3.7/132億円 維持管理費：0.29/0.29億円	総便益：(残事業)/(事業全体) 136/136億円 走行時間短縮便益：127/127億円 走行経費減少便益：7.6/7.6億円 交通事故減少便益：1.6/1.6億円	基準年： 令和3年		
感度分析の結果						
(事業全体) 交通量：B/C=0.93～1.1(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=30.6～37.3(交通量±10%) 事業費：B/C=1.03～1.04(事業費±10%) 事業費：B/C=29.5～39.9(事業費±10%) 事業期間：B/C=0.99～1.08(事業期間±20%) 事業期間：B/C=31.9～36.0(事業期間±20%)						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通拠点間のアクセス向上が図られ、物流の効率化、生産性向上に寄与する。</li> <li>慢性的な渋滞の解消により所要時間の短縮、生活利便性の向上、沿道利用の促進が図られる。</li> <li>緊急輸送道路としての機能向上が図られ、地域防災力の強化に寄与する。</li> </ul>						
関係する地方公共団体等の意見						
<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。</li> <li>海田町が第5次海田町総合計画(2021～2030)第1章第3節「都市基盤の整備」の主な取組みとして、一般国道2号東広島バイパスの整備促進を掲げており、一体的な整備が必要となる平面部の4車線化(一般県道矢野海田線)についても、整備促進を要望されている。</li> </ul>						
事業評価監視委員会の意見						
事業継続を妥当と認める。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成8年10月 平面部供用開始(一般県道矢野海田線：暫定2車線)</li> <li>平成18年3月 中野IC～海田東IC供用開始(一般国道2号：暫定2車線)</li> <li>平成26年3月 瀬野西IC～中野IC供用開始(一般国道2号：暫定2車線)</li> </ul>						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地進捗率100%、事業進捗率約85%						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
引き続き工事を推進し、早期完成を目指す。						
施設の構造や工法の変更等						
残土処分費について工事間流用による縮減に努める。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由						
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。						

